



# 令和3年度

## 農業現場における暑さ対策セミナー 救急時の処置のポイント

池田市消防署 第1警備課 救急担当

# 全国における熱中症による救急搬送状況

1. 令和2年6月から9月の全国における熱中症による救急搬送人員は約65,000人でした。これは前年の同期間の救急搬送人員と比較すると約2,000人少なくなっています。

救急搬送人員の年齢区分別では、高齢者が最も多く、次いで成人、少年、乳幼児の順となっています。

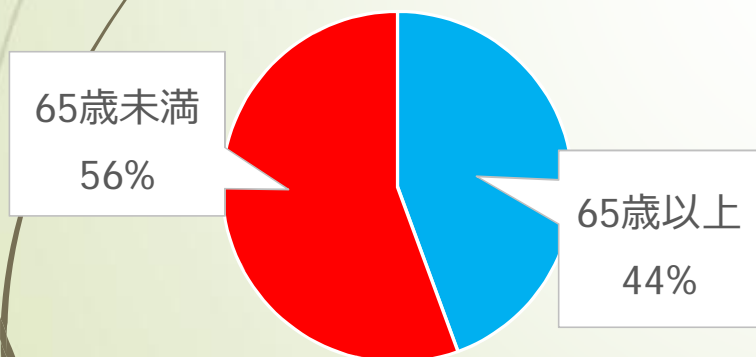
搬送された医療機関での初診時における傷病程度別にみると、軽症が最も多く、次いで中等症、重症の順となっています。

発生場所別の救急搬送人員をみると、住居が最も多く、次いで道路、仕事場、公衆（屋外）の順となっています。

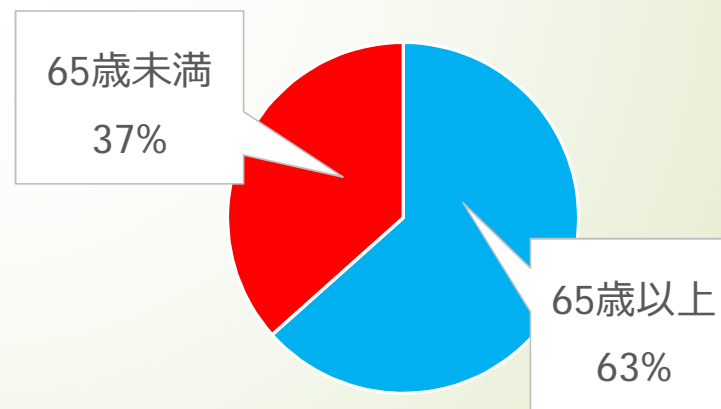
## 池田市消防本部における 熱中症傷病者搬送状況

- 令和2年（4月～10月）27人
- 令和元年（4月～10月）41人（※4月は平成31年）

令和2年



令和元年（平成31年含む）



## 熱中症傷病者の傷病程度別では・・・

令和2年4月～10月

- 軽症 21名（入院せず帰宅）
- 中等症 6名（3週間未満の入院）
- 重症 0名（3週間以上の入院）

令和元年4月～10月（平成31年を含む）

- 軽症 32名（入院せず帰宅）
- 中等症 7名（3週間未満の入院）
- 重症 2名（3週間以上の入院）

## 熱中症傷病者の発生場所は・・・

令和2年4月～10月

- 屋外 19名
- 屋内 8名

令和元年4月～10月（平成31年を含む）

- 屋外 23名
- 屋内 18名

屋外での内訳としては主に、若年者ではクラブ活動中、高齢者では草刈りなどの作業中に発生しています。その他では、ランニング中・工事現場の作業員や警備員等が挙げられます。また、エアコンや扇風機を使用していない場合や、換気をしていないような屋内でも発生しています。


## 農作業中の熱中症発生状況

農作業中の熱中症による死亡者数ですが、平成22年から令和元年まで10年間で251人発生しています。また251人のうち70代以上が約86%を占めています。発生している時期については、7月8月が多く、もちろんそれ以外の月でも発生しています。また、251人のうち約75%の147人が畑で発生しています。こうした死亡事例はビニールハウス内や草刈り、畑での作業中に発生しています。

※農林水産省（農作業中の熱中症対策について）令和3年4月26日付け通知文参照

# 夏の農作業で心がけること

- 1. できるだけ、気温の高い時間帯の作業は避ける。
- 2. 作業前・作業中のこまめな水分補給と休憩をとりましょう。
- 3. 熱中症グッズ（帽子、吸汗速乾性素材の衣服など）を活用しましょう。
- 4. 単独作業を避けましょう。
- 5. 高温多湿の環境を避けましょう。



では熱中症を疑ったとき  
にどのような対応や処置  
を行えばよいのか？




## ● 熱中症を疑う主な症状について

筋肉痛・めまい・立ちくらみ・頭痛・嘔吐・倦怠感・けいれん・意識障害

これらの症状が出て熱中症が疑われる時には作業を中止する事が大切で、それ以前に症状が出ないように対策することが大切である。

## ● 応急手当のポイント

1. 移動可能であれば、涼しい場所（日陰や冷房の効いた部屋）への移動。
  2. 脱衣により熱の放散を助け、ベルトなどを緩めて風通しを良くする。
  3. 水分に関しては、自分で飲めるのであれば自分で飲んでもらう。  
※ 反応が鈍いなどの意識障害があるような人に、無理に水分をのませることは危険。
  4. 氷のうや冷たいペットボトルで首・腋の下・太腿の付け根を冷却しましょう。
  5. 水分補給は、汗で失われた塩分を補えるスポーツドリンクや経口補水液などが最適です。また冷たい飲み物は体の熱を奪うので効果的です。
- 119番通報して、救急車が到着するまでに、応急手当をすることで症状の悪化を防ぐことができる。



以上の処置のポイントを踏まえて、熱中症の症例を2つ御紹介します。

適切な応急手当ができているのか考えながら見てみましょう。

## 症例 1

70歳の女性、水分補給をせずに炎天下で畑仕事を続けていたため突然倒れた。反応が鈍かったため、隣に居合わせた夫が救急要請をする。

救急車が到着するまでの間、応急手当が適切であったのか見てみましょう。

## なぜ熱中症に？

こまめな水分補給や日陰での休憩をとらず炎天下で作業を続けたため。

### 良かった点

- ① 近くの日陰に移動させたこと。

### 改善すべき点

- ① 水分を無理矢理飲ませたこと。

## 症例 2

70歳の男性、真夏に自宅のリビングで冷房や扇風機は使用せず、窓を少し開けて過ごしていた。体が熱いが汗があまり出ないし、水は飲んでいたので大丈夫だと思っていた。外出していた息子が帰宅すると父親が頭痛を訴えてしんどそうにしていたため救急要請。

救急車が到着するまでの間、応急手当が適切であったのか見てみましょう。

## なぜ熱中症に？

窓は開けていたが、エアコンや扇風機を使用せず、部屋の中は高温環境になっていた。その中で、年齢的にも暑さを感じにくくなっており、水は飲んでいましたが、汗で出ていく塩分が不足していた。

### 良かった点

①エアコンを使用し部屋の温度を下げる。

### 改善すべき点

①塩分を含まない水分の摂取。

# コロナ禍の熱中症対策

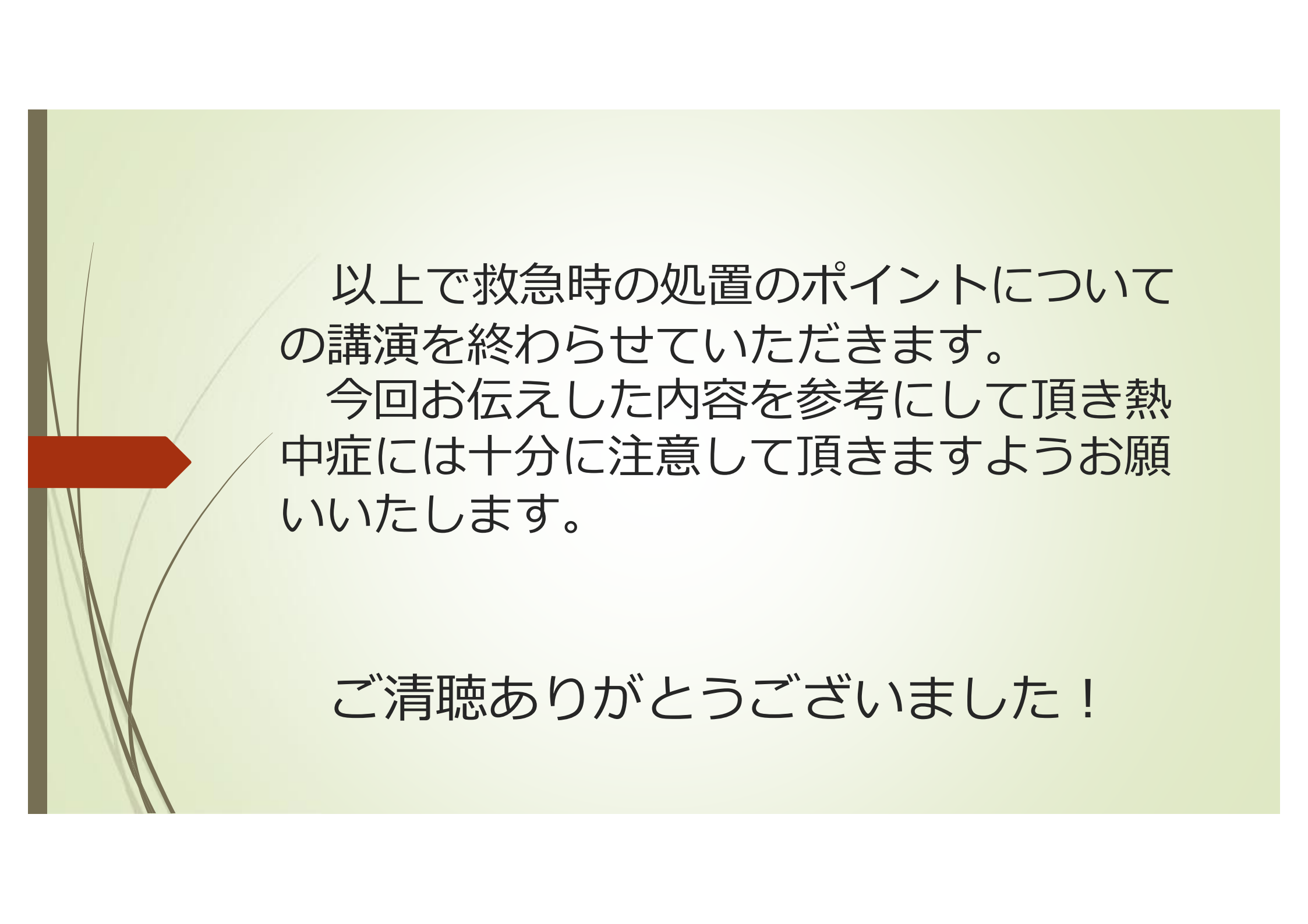
## 1. マスクを適宜外す

- ・気温や湿度が高い中でのマスク着用は要注意。
- ・屋外で人と十分な距離が取れる場合は外す。
- ・マスク着用中は激しい運動は避ける。

## 2. エアコン使用中もこまめに換気

- ・熱中症予防にエアコンは有効であるが、新型コロナウイルス対策として、部屋の換気も必要である。エアコンをつけたまま、窓やドアなど2か所を開け、扇風機や換気扇も一緒に用いましょう。

※環境省・厚生労働省「令和2年度の熱中症予防行動」参照



以上で救急時の処置のポイントについての講演を終わらせていただきます。

今回お伝えした内容を参考にして頂き熱中症には十分に注意して頂きますようお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました！